

2004年1月23日

報道用資料**タイの新車購入者はスタイリングを最重視****2003年タイ自動車商品性評価(APEAL)調査**

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワーアジア・パシフィック（本社東京、蓮見南海男社長、略称 J.D. パワー）は、2003年タイ自動車商品性評価（Automotive Performance, Execution and Layout、略称 APEAL）調査の結果を発表した。

当調査は、自動車の満足度の重要な要素である性能や装備品、デザインに関する商品性魅力度についてユーザー評価を調べるもので、タイでは今回初めて実施した。新車購入時から2～6ヶ月経過した車を対象とし、今回は2003年1月から7月までに新車を購入した2,200人以上のユーザーから回答を得た。調査対象車は11ブランド、32モデル（ピックアップ・トラック、乗用車、ユーティリティ・ビークル）である。当調査は今後、年1回の割合で実施する予定である。

評価の内容は、「エンジン/トランスミッション」、「内装/インパネ」、「乗り心地/ハンドリング」、「空調関係」、「快適性/利便性」、「オーディオ」、「シート」、「スタイリング/外装」の8つのカテゴリーで構成され、評価項目は100項目以上に及ぶ。

◆いすゞ・D-MAX スペースキャブ、日産・フロンティア、ホンダ・シビックがトップ◆

タイの新車購入者にその車を購入した主な理由を尋ねたところ、最も多かった回答は車のスタイリングだった。タイの平均的な新車購入者は、ピックアップ・トラック、乗用車、SUV、MPVといった車種に関係なく、車のスタイリングや外観の美しさに非常に敏感である。品質はユーザーが実際に車を所有して満足感を得るために欠かせない必要条件だが、一方でスタイリングやアピール力は他社製品に対する重要な差別化要因となり、購入決定にあたって非常に重視されるようになった。長期にわたって市場で成功を収めていくには、品質とスタイリング/アピール力の両面で高い評価を得ることが極めて重要である。

セグメント別ランキングでは、ピックアップ・トラック・セグメントでいすゞ・D-MAXスペースキャブと日産・フロンティアが、共に1,000ポイント満点のAPEALスコアで842ポイントをマークし第1位になった。第3位には833ポイントのトヨタ・ハイラックス・タイガーが入った。

ミッドサイズカー・セグメントでは、815ポイントでホンダ・シビックが第1位になった。シビックは、J.D. パワーが先に実施した「2003年タイ自動車初期品質調査（IQS）」でも同セグメントのトップになっている。以下、トヨタ・カローラ・アルティス（809ポイント）、三菱・ランサー・セディア（807ポイント）が続いた。

また調査では、APEALスコアと平均的な購入価格の関係も明らかになった。一般に魅力度の高い車ほど購入価格は高くなるが、魅力的なスタイリングや装備品、オプションに対する付加価値の金額が加算されていることを考えれば当然といえる。とはいえ、中にはシビックやスペースキャブ、フロンティアなどのように、同じ価格帯の他の車よりAPEALスコアが上回る車もあった。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（略称 JDPA、本社米国カリフォルニア州）の日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。インターネット上でホームページを開設しており、会社概要や提供しているサービスなどの情報を次のアドレスで入手できる。

J.D. パワー アジア・パシフィック ホームページ <http://www.jdpower.co.jp>

<本調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション 川野

住 所： 東京都中央区日本橋富沢町 10-16 マイアーク日本橋ビル（〒103-0006）

電 話： 03-5695-4568

F A X： 03-5695-0617

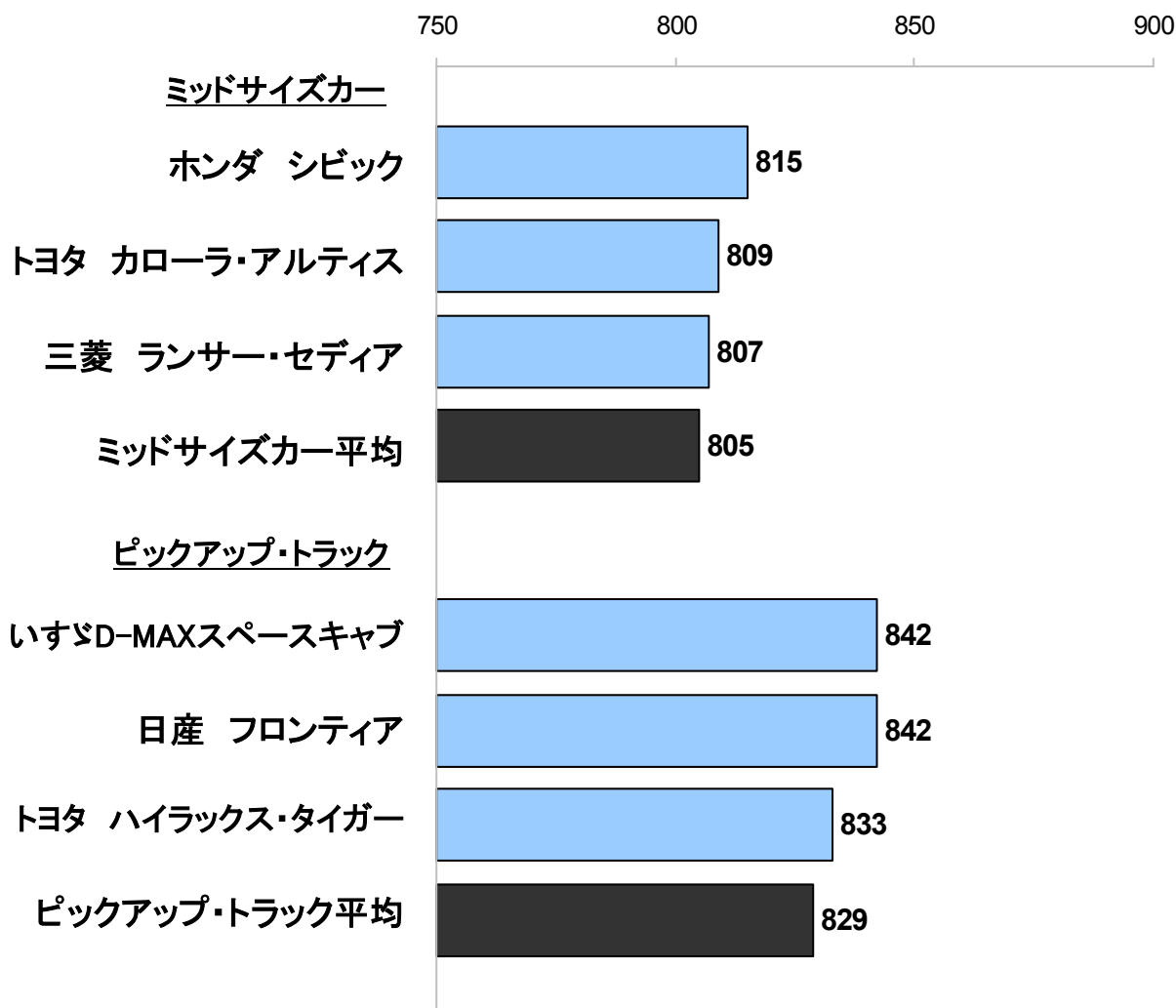
e-mail： mkawano@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年タイ自動車商品性評価 (APEAL) 調査SM

セグメント別ランキング トップ3モデル (1,000ポイント満点)



注意: プレミアム・ミッドサイズカー・セグメント、ラグジュアリーカー・セグメント、SUVセグメント、MPVセグメントはサンプル数不足のため、ランキングは実施していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年タイ自動車商品性評価調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典 (J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年タイ自動車商品性評価調査SM) を明記して下さい。